

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 電磁波センシングによる多元的双方向画像解析の研究
2. 研究代表者： 木寺 正平（電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ波等の電磁波センシング技術のためのレーダーとトモグラフィ理論を融合した革新的な画像解析法の研究基盤を創出し、多重散乱波及び多偏波データを統合させ、革新的な交通インフラの大規模コンクリート内部非破壊検査、自動運転におけるカメラでは見えない影領域の人体識別・予測技術を創発し、学術・社会・産業分野における破壊的なイノベーションを目指している。フェーズ1では、多重散乱波のデータと機械学習を用いた人体識別や複素誘電率分布の推定において成果をあげており評価できる。フェーズ2では、実社会への応用を視野に入れた、マイクロ波、ミリ波、テラヘルツ波帯など多波長を用いた複素誘電率分布イメージングへの展開を計画しており、着実な進展に期待する。

以上